

時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり

時事新報

第三千五百八十二號
明治廿六年二月十八日 土曜日
舊曆癸巳正月二日 (丙戌)
日出版六時二十分
月出版六時二十分
年出版六時二十分
電話 午後七時三十分
午後六時三十分
午後五時三十分
西曆一千八百九十三年

(面十號本)

(可認省信選第百一十號)

日八十月二年六十二治明

(錢二金價定)

時事新報定價
時事新報は海峽八面乃至十二面にして詳細の商況物
價報告あり其代價送送料廣告料は左の如し
一月二角五分 三月七角 半年一元二角 一年二元五角
○時事新報社より直接郵送スルモノハ右定價ノ外二月十三日
○時事新報社より直接郵送スルモノハ右定價ノ外二月十三日
○時事新報社より直接郵送スルモノハ右定價ノ外二月十三日

本社(寄稿)に付
一行五號活字廿四號 一日限 一日以上七日上
一行 二 付十三號十一號十號五號

時事新報は海峽八面乃至十二面にして詳細の商況物
價報告あり其代價送送料廣告料は左の如し
一月二角五分 三月七角 半年一元二角 一年二元五角
○時事新報社より直接郵送スルモノハ右定價ノ外二月十三日
○時事新報社より直接郵送スルモノハ右定價ノ外二月十三日
○時事新報社より直接郵送スルモノハ右定價ノ外二月十三日

閣員の責任は終始を全ふす可し

過般水陸軍の議事に関し政府と議會との間に軋轢の端
を開き次第に其熱を増して遂に議會より上奏に及びた
る折柄、端なく帝室より勅諭を下賜されたり蓋し此勅
諭は、朕なくも敬慮より出でたるものにして政府と議
會との紛争に關係なきは明白なれども偶然にも此時機
に發して然かも意の優渥切實なる言て其例を見ざる
程のものなるが故に一紙の勅諭は恰も雙方の雲霧を開
き忽ち春風和氣の新天地を出現せしめたるものと雖も
き次第なれ即ち日本の臣民が帝室に對し奉るの至情に
して此上は政府も議會も共に從來の行掛りを一掃し只
管憲法を奉體して所謂和衷協同の實を竭す可きものと
論なれば流石に勅諭を極めたる豫算の問題も雙方の間
に折合して成立を見るもならん誠に出度き次第な
れども、端なくも事の機を案するに目下の紛争は
偶然の勅諭に由りて幸に雲霧散に歸したれども其
餘争を離したる年來の病根に至りては決して消散した
るに非ず之を喻へば熱病の患者に水浴を爲さしめたる
に異ならず一時熱の冷却するもは妙なれども病は之
が爲めに癒えたるに非ず再發の患恐る可きのみか一時
の冷却は却て熱を上昇せしむるの掛念さへなきに非ず
れば今後の經過は大に難まざる可らず即ち來る十一月
の第五議會の有様如何は大抵懸念見可くして局外者
我輩の眼を以てするも事の容易ならざるは今より心に
關する所なれば況して多年の經驗に富み實際の局に當
る伊藤首相の胸中には必ず成見なきを得ず左れば聖勅
の爲めに幸に目下の難を目出度く經過したれども扱今
後の始末を如何せん云ふに昨今世間の一般に首相
は双方の折合、豫算の成立を好機會に功成り名遂げた
るものとして自ら其地位を去り相替らず當時の黒幕

石炭と汽船

石炭の不振も久しきにして市價
の回復到底人力の及ぶべからざる所と諦めたるものか
近來總て救済の沙汰を聞かざる代りに絶望的同士
打撃起れり尤も同士打撃並べて全く破滅的のものに
はあらずして其中には救済の分子もなきにあらざり即ち
監督を制して産出高を減じ市價の維持を計らんとする
にあり然れども石炭下落の原因は世人が喋々する如く
全く監督の結果なるや否や疑なきにあらざる成程炭礦
熱の爲めに九州地方に新炭山の開發せられたるもの
からず同時に北海炭も採掘高を増加したれば其當時産
出高の價かに増加したるは事實なり茲に於て供給は適
に需用に超過し勢ひ濫賣に流れて市價を崩したるも亦
疑ふべきにあらざる然れども市價の下落は亦産出高を減
じて其後九州地方にも廢坑したるものからず北海炭
炭も採掘高を増加するを得ず結局今日には炭礦熱
生前に比し出炭高非常に多しと云ふ程にもあらざり又
一方の消費高も一時は世上の不景氣にて工業不振の
爲め幾分を減じたれども近來は事業漸く回復して全國
を推算すれば二十三年頃よりも却て消費高を増した
るに疑ふべくもあらざる左れば濫掘と云ふも下落の一
原因には相違なきも此救済さへ付かば炭價は回復する
ものと思はれしとして下落の原因は寧ろ他に存するも
の如し

○石川縣下農事試驗場設置 同縣下能美郡の
有志者發起し同郡内金野村字金平に於て農事試驗場を
建設し同場附屬試驗田畑二町餘歩を購入し規程七條を
設定したる由にて此程場長幹事其他の役員とも夫々選
定したる由なり

○外國貿易月報 大藏省主稅局の調査に依れば本
年一月中の外國貿易高は左表の如し

輸出	四、七二、八五七、三六	五、七〇、六六四、〇八
輸入	二、七六、九七九、八五	三、四一、四九八、二〇
輸出	一、四七、七六九、〇〇	一、四八、五三三、九三
輸入	一、三六、八九九、四九	一、三六、八九九、四九

本線路は
速す途中
余部のみ

無殼

無殼の相違なきも品は常に市場に溢れて容易に市價を回復
せざるものならん而して外國炭下落の原因は種々様々
なるべしと雖も其大原因とも云ふべきは海運事業の不
振にあるべし兩三年前來歐米諸國は商業見角引立たずし
て今日に至るも振起の色なく隨て商品の動き劇しから
ず殊に鐵類の如きは尤も不測にして英國など之が爲
めに甚だ不景氣なりと云ふ尙ほ其上に北米合衆國は先
年來歐洲の商品を排除するの政策を執り南米諸國は近
年革命戰爭頻りに起りて實業家に不安の念を起さしめ
たれば歐洲資本家の此地に放銀するもの次第に減じ同
地方の貿易も大いに衰へたれば是等も歐洲の不景氣を
助けたるものならん右の如く歐米諸國は一般に商況衰
靡の姿なるに銀貨下落の爲めに東洋貿易も亦甚だ不活
澄にして東西共に商品の活動を止められたれば
海運事業の衰靡は自然の結果なり然のみならず近年
船の構造は次第に改まりて大形の汽船を製造し石炭
の消費を計らんが爲め從來は一千噸位なりし近年の
新造船は何れも四五千噸となり而も新造船著しく増
加したれば船の多き反對に貨物は減少し海運業頗る
困却してテュームス河上などには空船を繋留するも其
數を知らず隨て運賃非常低落し二三年前迄は歐洲よ
り我國迄一噸大凡三十シリングより四十シリング
なりしものが昨年は半減して僅に十七シリング半と
なりたる程なれば船の改造と共に石炭の需用は大いに
減少したり元來石炭を消費するも尤も多きものは汽
船にして世界産出の大半は汽船の需用に應ずるものな
るに海運業が斯の如き有様なれば石炭の下落するは素
より其所なり

博覽會出品の展覧

博覽會出品の展覧 米國シカゴ博覽會へ横濱
より出品の著なる製品は此程大抵出來上りしを以て今
十八日午前九時より同市住吉町千登世樓に於て展覧會
を催すよし

○石川縣下農事試驗場設置 同縣下能美郡の
有志者發起し同郡内金野村字金平に於て農事試驗場を
建設し同場附屬試驗田畑二町餘歩を購入し規程七條を
設定したる由にて此程場長幹事其他の役員とも夫々選
定したる由なり

○外國貿易月報 大藏省主稅局の調査に依れば本
年一月中の外國貿易高は左表の如し

輸出	四、七二、八五七、三六	五、七〇、六六四、〇八
輸入	二、七六、九七九、八五	三、四一、四九八、二〇
輸出	一、四七、七六九、〇〇	一、四八、五三三、九三
輸入	一、三六、八九九、四九	一、三六、八九九、四九

本線路は
速す途中
余部のみ